

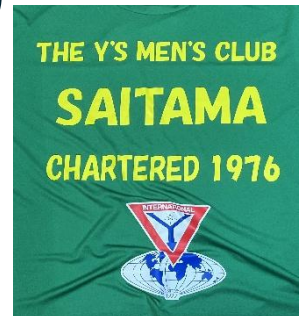
～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～

埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

2026年
10月号

埼玉クラブ会長主題：設立50年の歩みに感謝し、ブルーミュージックを実現する
関東東部部長主題：地域奉仕活動とYMCAサービスで元気に
東日本区理事主題：挑戦なくして進化なし
アジア会長主題：アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる
国際会長主題：ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる



——埼玉クラブ運営方針——

ジェンダーへの取り組みから、無意識内に存在する偏見・差別・思い込みに気づき、
頑なさを捨てよう。

～今月の聖句～

「未熟な者に熟慮を教え、若者に知識と慎重さを与えるため。
これに聞き従えば、賢人もなお説得力を加え、聡明な人も指導力を
増すであろう」

(箴言 1:4～5)

衣笠輝夫

箴言 (Proverb) は日本語でいう「ことわざ」。先達が実践の場から導き
だされた知恵に学びたい。そして主を畏れることは知恵の初め。

定例会

毎月第3月曜日 10:00～
浦和パルコ 9階

夜談会

毎月第2月曜日 18:00～
浦和駅付近 サイゼリア

埼玉クラブ会員 8名
(50音順)

浅羽俊一郎 直前会長

伊藤 澄夫

上松 寛茂

金子 恒夫

衣笠 輝夫 会長

書記

桜井 徹 担当主事

高岡 敏夫 会計

水無瀬隆造 (zoom)



埼玉ワイズメンズクラブ10月例会 (ASF月間 アレクサンダー奨学基金)

10月19日(月) 10:00～12:00

浦和パルコ9階(さいたま市民活動サポートセンター)

～関東東部部長 公式訪問～

開会点鐘

ワイズソング・ワイズの信条

聖書朗読と祈り

ゲスト・ビジター紹介

関東東部 廣田部長より

地域奉仕活動(CS)資金申請について

10月30日(金)埼玉クラブ50周年記念会の実施

今後のジェンダー活動について

・11月22日(日)埼玉クラブ50周年企画 他

埼玉YMCA報告 その他報告

誕生日祝い ドライバー 閉会点鐘

ASFアレクサンダー奨学基金

ワイズメンズクラブ創始者の
ポール・ウィリアムズ・アレキ
サンダーを記念して設置された
国際協会の基金。
YMCAの様々な事業を支援し
ワイズとYMCAのパートナー
シップを強めている。東日本区
では、「CS・Yサ・ASF資
金」として運営し、地域社会奉
仕事業、YMCA主事研修等に
用いられている。

「関東東部」

東日本区の7部の内の1部
東京江東C、千葉C、東京グリ
ーンC、埼玉C、所沢C、東京
ひがしC、川越C、千葉ウエ
ストCの8クラブがある。

—9月の定例会記録—

在籍者数 : 8人

出席者数 : 7人

(内オンライン参加1人)

メーキャップ : 0人

出席率 : 87.5%

メネット : 0人

ゲスト : 0人

ビジター : 0人

(内オンライン0人)

—9月の夜談会記録—

在籍者数 : 4人

ビジター : 2人

(男性:5人 女性:1人)

9月14日 夜談会



9月21日 定例会

「活動・組織運営を見直すジェンダーの視点」(一部)

作成：浅羽俊一郎

* 「男はどうしたら変わるか？」

- ・ 若いうちに「自由」を味わう
(人々を無意識のうちに縛る空気のない世界を知る)
- ・ 日本人論を学び直す
- ・ 日本の男性に共通の素質を考える→受け入れる
- ・ 小さな恥をかくことに徐々に馴らす
- ・ 一人で堂々と人前で発言できるようにする

(仲間→他人グループ)

* 「女はどうしたら良いか？」

- ・ 若いうちに「自由」を味わう
(人々を無意識のうちに縛る空気のない世界を知る)
- ・ 社会を変えようと思う
- ・ 分野・立場を超えて一緒に取り組む(男を巻き込む)

ジェンダーの視点から市民活動・運動を見直そうという考えの背景には、「多くの団体(ほぼ男が決定する)が自発的に男女対等化に取り組まない」という認識があります。障害となるのは「『男女対等』は語るべきもの」という暗黙の了解を支える以下のような文化・制度を幼児期から受容させる教育(過程・学校・社会)と「空気」に原因があると思われます。

- ・ タテ社会(肩書き・年功・格差)
- ・ タテマエと本音(総論賛成・各論反対)
- ・ 女の前で恥かくな。親に恥かかせるな。
- ・ 世間の目(クラス・組織で失敗を避ける)
- ・ 幼児期から競争と比較に晒される生活
- ・ 島国体質(内向き)

このままでは男には変えられない(能力不足)

- ・ 男が変えたくない(居心地良い)社会の構造
- ・ 文化が温存される一方で、女性の社会的発言力は強まらないと思います。

埼玉クラブ50年の歩み

歴史の一コマ(連載03)



2007年9月24日
(青木清子部長訪問)



2009年12月9日
(クリスマス祝会)



2010年9月4日
(移動例会 大宮盆栽村)

●YMCAの小窓から

9月23日(水) 埼玉YMCAフルタイムスタッフ向けに全体研修会行われた。この全体研修会は年に1回毎年行われ、今年は12月より施行される「こども性暴力防止法(日本版DBS)」について学びの時を持った。こども家庭庁が取組を行なっているが、埼玉YMCAのほとんどのプログラムがこどもを対象にしており、小規模保育室、放課後等デイサービス、児童館などの福祉事業は児童福祉法関連で対象となっている。こども家庭庁のガイドラインの動画は字幕で英語記述が流れているので、ネイティブスタッフも一緒に視聴することができた。視聴後の事業部別のシェーミングでは、それぞれのプログラムでどのような場面があるか、どのような行為があるか、などを話し合い情報共有をすることができた。こどもや保護者が安心してプログラム参加できるよう今後も研鑽の時間をつくっていききたい。

埼玉YMCA職員 桜井 徹記

